

論文審査の結果の要旨および担当者	
学位申請者	橋本 和磨
論文担当者	主査 越久 仁敬
	副査 池内 浩基
	副査 篠原 尚
学位論文名	Preoperative anxiety induces no clinically relevant effect on intraoperative nociceptive levels during breast surgery under general anesthesia (乳腺手術における術前不安状態と術中侵害受容刺激反応)
論文審査の結果の要旨	
<p>術前の不安は手術による侵害受容刺激に伴う術後急性痛を増加させる事が知られている。しかしながら、術前の不安が全身麻酔下での乳房切除術の侵害受容性反応に影響するかどうかは明らかではない。以前、申請者は麻酔記録中のビッグデータを用いた判別分析により、術中の侵害受容刺激反応を評価できる可能性を報告した。この方法は、手術開始から手術終了までの間の平均心拍数、平均収縮期血圧、平均 perfusion index のそれぞれの値を用いた判別分析により、術中の侵害受容刺激反応を評価する試みである。今回の研究では、全身麻酔下乳腺手術における患者の術前不安状態が、術中の侵害受容刺激反応に影響するか、判別分析による効果判定を行った。</p> <p>対象は当院において全身麻酔下乳腺手術を受けた患者 (ASA-PS 1-3、年齢\geq20 歳) 45 例。術前の不安状態は、術前麻酔外来で取得した STAI-1 を用いて評価した。STAI-1 値が 40 未満をコントロール群 (n=25)、40 以上を不安状態群 (n=20) とした。統計解析は、unpaired t-test と判別分析を用いた。結果、両群間で、患者背景、術中薬剤投与量、術中パラメーター、侵害刺激受容反応に有意差は認めなかった。ASA-PS、年齢、BMI 値、手術時間から得られた傾向スコアによるマッチングを行った後も、結果は同様であった。</p> <p>今回の研究では、全身麻酔下乳腺術における術前の不安は、心血管パラメーターを用いた評価では、侵害受容反応に影響を認めなかった。人体において、不安は安静時の脳ネットワークの機能的結合及びデフォルトモードネットワークに影響する事がわかっているが、全身麻酔の有無で侵害受容刺激反応に対する影響は異なると考えられた。</p> <p>本研究は、心血管パラメーターが侵害受容刺激反応の評価に応用できる可能性を示した点、全身麻酔時は不安と疼痛の相互作用が覚醒時とは異なることを示した点で、学術的な意義があり、学位授与に値すると評価した。</p>	